

市内の小中学校で入学式を実施

小松島市内の小中学校13校で4月9日、入学式が実施され、小学生230人、中学生277人が新1年生となりました。このうち、南小松島小学校では59人の子どもたちが入学。保護者らが見守る中参列した子どもたちは、先生から名前を読み上げられると、やや緊張しながらも元気な声で「はい」と返事をしていました。今年の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年よりも規模を縮小しての実施となりましたが、子どもたちは新しい学校生活への期待に胸を膨らませていました。



式典後、教室で着席して先生からの説明を受ける子どもたち

消費者被害のないまちを目指して 小松島市消費者安全確保地域協議会 による取り組み報告

消費者被害の未然防止や軽減を目的として、市民の方と市消費生活センターをつなぐ活動をしていただいている小松島市消費者安全確保地域協議会の取り組み報告会が3月25日、市役所でありました。報告会では同協議会なかてるこの中央子会長が、地域に密着して活動している協議会の各構成団体の連携により消費者被害を未然に防いだ事例を報告。「高齢者らの財産を狙った詐欺事件などの被害を未然に防ぐため、地域で声をかけ合って助け合っていくことが重要」と述べられていました。

また、今後の消費者啓発活動などで使う「のぼり」も披露されました。年金支給日に銀行やスーパーなどでの被害防止キャンペーンの際に掲げる予定としており市民に消費者被害の未然防止を呼びかけていきます。



のぼりを掲げる中会長（右）

地域の水をきれいに 水質浄化装置のテスト運転を実施

小松島市内の高校生らでつくる環境改善プロジェクトチーム「Re:ver」(リバー)が、4月9日、中田町内の水路でオリジナルの水質浄化装置を設置し、テスト運転を実施しました。同チームは平成31年2月に同じ中田町内の水路に水質浄化装置を稼働させており、今回テスト運転を行ったのは2号機。生徒らが水路に入って装置を運転させると、水面に浄化の過程で発生する気泡が現れ、装置が正常に運転することが確認されました。今回のテスト運転の結果を元にして、今後2号機の本格稼働を目指すとのことです。

設置した生徒たちは、「1号機の設置により、周辺の水路の水質が改善され、魚も戻ってきた。2号機でもいい結果を出したい」と意気込みを語っていました。



水路に入って水質浄化装置を設置する生徒たち